

# 謹賀新年



会員の皆様、賛助会員の皆様、謹んで新年のご挨拶申し上げます。旧年中は千鷲会の活動について深いご理解とひとかたならぬご支



朝倉 範夫

千鷲会会長

## 年頭の御挨拶

援、ご協力を頂戴し、会の運営が円滑に行われたことはご同慶の至りであり心から感謝申し上げます。会の主たる目的である相互の親睦については、時期折々の懇親会

は、引き続き航空祭等の基地行事をつうじて千歳基地への協力支援を積極的に行い、わが国の安全保障に寄与したいと考えます。地域社会に対する貢献については、昨年度は会の資金から市の奨



(第2号) 発行 千鷲会

明けましておめでとろございませ  
本年も宜しくお願い申し上げます  
平成二十三年 元日

学基金へ寄付を行いました。会員個人レベルでの貢献活動はもとより、会としてまとまった形での寄与活動についても検討してゆきたいと思ひます。我々自前の会報が創刊され、第二号で皆様に直接この御挨拶をできることは大変うれしいことでありませ。皆様のご協力を得てこの会報を充実したものに育てて頂くことをお願いし、年頭にあたりこの一年が皆様及びご家族様にとつて安寧な年申し上げますよう御祈念申し上げます。  
(辛卯元日)



新年あけましておめでとろございませ。お陰様で千歳において初年度の国際ホテルとして開業三十二年目となります。これまで育んできた皆様に信頼の絆でお応えすべく従業員一致結束して行動して参ります。変わらぬご愛顧の程よろしくお願い致します。



ホテル日航千歳 総支配人 島田 裕次

### 賛助会員紹介



### 役員紹介



事務局長 埜 哲夫

明けましておめでとろございませ。私は、昨年六月に初代事務局長として就任した埜(ハナワ)です。平成二十一年六月の特別航空輸送隊を最後に退官し、その後は、特輸隊が装備するB-747型機のフライト・シミュレーターの委託整備を請け負う会社に就職し、千歳基地内の職場で働いています。退官と同時に千鷲会に入会して一年が過ぎたころ、自分も何かしなければと考えていた矢先、先輩役員の方から「事務局長」として声を掛けられ、かなり気兼ねな気持ちで引き受けさせてもらいました。しかし、総勢七百人の千鷲会です、その職責は重大ですが、事務次長に百パーセント以上助けをお借りして役員に名を連ねています。

### 題字の紹介

今年は今まで以上に千鷲会の盛会のために頑張りますので宜しくお願い致します。

### 千鷲会の会員数

(二月一日現在)  
正会員 677名  
賛助会員 16社  
個人 12名

### 各紹介

新役員 事業部理事 畑田 信也  
新入会員 芦田 威 (基地援護室)

### 物故会員

花田 一美 (十二月七日)



# 千歳基地探訪

## 慰霊碑の謎



基地慰霊碑を参拝した時など一文字一文字を確認する人は少ないと思う。  
この碑は、昭和四十四年八月に当時の第七代基地司令藤沢信雄将補によって設

立された。  
以来、碑の文字を見て何も思わない人、あの世に行ったら鬼に会いたくないので魂の角を取ったと噂を流す人など様々と思うので、字体製作

者と文書体について紹介したいと思う。歴代の第三代基地司令であった故渡辺正将補が常用漢字にない隷書体で、人の幾多の英霊がいつまでも安らかであることを祈りながら心を込めて書いたものと偲ばれるが真意は・・・？  
現在、慰霊碑には三十三の御霊が祀られている。(Y・K)



平成二年に退官し、千鷲会に入会した。はじめのころは千鷲会の諸行事にも参加していたが、白老町の民生委員児童委員や統計調査委員等の公職が多くなるとともに会には疎遠となってしまった。  
この間、趣味も犠牲にしていたが、余生幾許かと考えて、この十一月をもって殆どの職を辞することとした。今後は、自分のために過ごすことにしたので昔の仲間にもお会い出来るのではないかと楽



豊岡

一 (白老在住)  
主なプロフィール  
千歳警務隊長  
3 高群総務班長

しみにしている。趣味のゴルフもスキーも年に数回程度だったが、今後は会のゴルフサークルに参加させて頂きたいと思っている。  
もう一つの趣味としていた俳句は、一昨年度のNHK全国俳句大会で大賞六人の内、一人として選ばれ全国放送されたのが唯一の出来事であった。鬼に笑われるかも知れないが、今年からまたよろしくお付き合い下さい。

# 奨学基金に寄付



山口市長に寄付金を手渡す朝倉会長 (右側)

千鷲会はこのほど、千歳市の奨学基金に五万円を寄付した。市役所を訪れた会長は、ボランティア活動の組織なので、大人数の今回は社会貢献として寄付を決めました」と話し、山口市長に寄付金を手渡した。

# 広報誌発行にあたって

会の充実活動性を図る推進事業の一環として、今年度の主要事業(行事)の一つに掲げておりました広報誌「千鷲会だより」は昨年八月の第1号(創刊号)に続き第2号を発行することができました。この間、発行にあたっては多々紆余の折がありましたが、現役時代部隊で「ちとせ」「きぼう」の編集に長年携わってこれた国井・今井両会員の尽力により、何とか軌道に乗って行けるものと確信しております。また、創刊号はモノクロでの発行でしたが、2号からは予算の見通しもたちカラー印刷が可能となり、更に内容の充実を図りながら当面年3回〜4回を目標に発行して参ります。千鷲会だよりの発行により、会員相互の情報共有手段として更に絆を深めていければと願っております。(事務局 T・S)

# 秋の懇親会

恒例の秋の懇親会が22年10月1日、ANAクラウンプラザホテルで開かれ、参加した60名の会員は旧交を深めた。



# 投稿記事募集

会員皆様方の活動状況を掲載いたします。ボランティア、趣味、論評などジャンルは問いません。自薦、他薦大歓迎です。

投稿先及び問合せ先  
国井 28局4302



再三、行われた編集会議